

ねむろ 市議会だより

第12号
平成27年 5月 1日

発行／根室市議会

根室市常盤町 2 の27
根室市議会事務局
T E L (0153) 23-6111
F A X (0153) 24-5820



平成27年根室市成人式
(平成27年 1月11日撮影)



根室市立昆布盛小学校閉校式典
(平成27年 1月31日撮影)



2015「北方領土の日」根室管内住民大会
(平成27年 2月 7日撮影)



2015ニムオロ冬の祭典
(平成27年 3月 1日撮影)

目 次

- ・ 1月緊急議会・第2回1月緊急議会・3月定例会議会 会議日程…………… 2
- ・ 「代表質問・一般質問」概要 …………… 2
- ・ 平成27年根室市議会各議会本会議及び各委員会質疑等 …………… 6
- ・ 平成27年根室市議会 各議会採決一覧…………… 9
- ・ 平成26年度 政務活動費の収支状況…………… 11
- ・ 第9期根室市総合計画が可決されました …………… 12
- ・ 「6月定例会議会」日程(予定)・編集後記 …………… 12

1月緊急議会 会議日程

議会期間 1月20日(火) 《1日間》
1月20日(火) ○本会議：議案第1号

第2回1月緊急議会 会議日程

議会期間 1月30日(金) 《1日間》
1月30日(金) ○本会議：議案第2号

3月定例月議会 会議日程

議会期間 3月2日(月)～3月18日(水) 《17日間》
3月2日(月) ○本会議：議会運営委員長報告／議案第88号(審査継続議件)／議案第1号(審査継続議件)／議案第3号～議案第37号／「市政方針」「教育行政方針」／議案第38号～議案第44号〈平成26年度補正予算先議〉／報告第1号
3月3日(火)～3月9日(月) ※議案調査等
3月10日(火) ○本会議：議案第45号／議案第48号／代表質問3会派
3月11日(水) ○本会議：一般質問5人／提出議案説明／各常任委員会付託／一般会計、各事業・特別会計予算審査特別委員会設置、付託／報告第2号
3月12日(木) ○常任委員会：総務(議案第3号～第6号) 文教厚生(議案第7号～第20号、第22号～第24号、第46号、第47号) 産業経済(議案第21号、第25号、第26号)
3月13日(金) ○予算審査特別委員会：議会費、総務費、民生費、衛生費、流通加工センター、港湾事業、病院事業、農業用水、水道事業、下水道事業
3月16日(月) ○予算審査特別委員会：労働費、農林水産業費、商工費、土木費、消費費、病院事業
3月17日(火) ○予算審査特別委員会：教育費、公債費～予備費、【歳入】市税～市債、国民健康保険、介護保険、後期高齢者、交通共済／採決
3月18日(水) ○本会議：予算審査特別委員長・各常任委員長報告、採決／市長提出人事案件／意見書案／休会

※議案名については、9頁の採決一覧表に掲載しています。

「代表質問・一般質問」概要

(3月定例月議会では、3会派が代表質問を、5人が一般質問を行いました)

※掲載している質疑の内容については、質問した議員自らがまとめたものであり、詳しい質疑内容は、5月下旬頃に市ホームページで確認いただけます。

代表質問

創 新

代表 滑川 義幸 議員

「地方創生・元年」への取り組みについて

【質問】まちの活力を取り戻すための地方創生が国から求められている。本市における総合戦略の推進について。

【答弁】平成二十七年度中に本市の実情に即した地方版総合戦略として、人口減少と地域経済の縮小を克服する観点から「根室市人口ビジョン」、「根室市創生総合戦略」を取りまとめ、自立した地域社会の実現を目指す考えである。

【質問】創生総合戦略の策定、推進するための体制づくりについて。

【答弁】行政の内部組織としては、既に「根室市人口問題・少子化対策推進本部」を設置し、外部組織としては「(仮称)根室市創生総合戦略会議」の設置を予定しており、市民と連携体制

の下で議論を重ねる。

「生産都市・根室」を目指すための産業経済対策について

【質問】地域資源の有効活用と地域力を発揮するための地域の「新たな絆」、ネットワークの構築の重要性について。

【答弁】地域資源を有効活用した新産業や新たな付加価値を創出するために、新しい視点を持つ若者や移住者、多様な産業と機関が連携し、人と人、企業と企業、産・学・官・金などが有機的に結び付くことが重要と考える。その為に産業クラスターなど既存の取り組みと協調しつつ、六次産業化や農工商連携など人的ネットワークの形成を促進することにより産業経済対策の充実を図っていく。

【質問】「生産都市・根室」を目指すため、根室市の産

業構造の課題と目指すべき将来像について。

【答弁】人口減少は産業構造にも影響しており、とりわけ基幹産業においても労働力不足、後継者不足等による生産力低下が懸念される。

特に女性や若者の就業におけるミスマッチは極めて深刻な問題であると認識している。そのため、これらの実態・状況を踏まえ、総合的な産業経済対策として現在「産業振興ビジョン」の策定に取り組んでおり、今後設置する中小企業振興審議会においても審議いただき、地域経済の活性化に向けた具体的な取り組みを推進していく。

若年層の市内定住促進と市中経済の活性化について

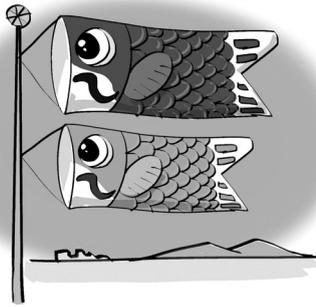
【質問】「根室なでしこ応援事業」について。

【答弁】潜在的な労働力である女性に活躍いただくための取り組みとして「職場体験実習」、「ビジネス基礎講座の開催」、「資格取得」などの支援を行う。

教育行政推進の基本姿勢について

【質問】スポーツ都市宣言・スポーツ振興の拠点の推進としての総合体育館の建設について。

【答弁】市民ニーズの高い要望案件であり、来年度からスタートする「第九期根室市総合計画」でもその必要性を位置づけたところであります。来年度、教育委員会において、具体的に道内各地の調査・視察を予定していることから、今後これらのデータをもとに他の公共施設との複合化なども含め、様々な形で議論を重ね、取り進めていく。



代表質問

日本共産党根室市議会議員団

代表 神 忠志 議員

人口減少問題・少子化対策と地方創生の視点

がどう考えるか。

【質問】人口減少問題・少子化対策と地方創生を取り組むに当たってどんな視点から取り組みを進めるのか。

【答弁】新しい「総合計画」で掲げた「共生と安心」、「活力と発展」、「参画と協働」の三つのまちづくりの理念の下、さらに地方創生という観点から、将来の都市像を見据えた取り組みが重要と考える。

【質問】新しい「総合計画」で掲げた「共生と安心」、「活力と発展」、「参画と協働」の三つのまちづくりの理念の下、さらに地方創生という観点から、将来の都市像を見据えた取り組みが重要と考える。

【答弁】新しい「総合計画」で掲げた「共生と安心」、「活力と発展」、「参画と協働」の三つのまちづくりの理念の下、さらに地方創生という観点から、将来の都市像を見据えた取り組みが重要と考える。

国の「地方財政対策」は地方自治の精神に反していないのか

【質問】十五年度の国の地方財政対策は「地方創生」等の財源対策が計上されているが、その算定方法が「地方分権」の精神とは違い、国の政策へ誘導する傾向となっている。地方が自由に使い、地方の税源格差を是正することこそ求められる

【答弁】十五年度の国の地方財政対策は「地方創生」等の財源対策が計上されているが、その算定方法が「地方分権」の精神とは違い、国の政策へ誘導する傾向となっている。地方が自由に使い、地方の税源格差を是正することこそ求められる

【答弁】地方創生に一兆円計上されているが、地方の個性・独自性を尊重することが重要。さらに、地方財政が抱える脆弱な財政基盤の抜本的な問題解決が図られるよう国に強く要望する。

応じ関係団体と連携し、迅速かつ的確に対応する。

「医療介護総合法」は地域医療の後退につながるのか

【質問】「総合法」による「病床機能報告制度」で国に医療情報が一元化される。その結果、患者の早期退院、病床削減など、地域の医療後退を招かないのか。

【答弁】病床機能報告制度に基づく道の「医療ビジョン」で、将来の医療需要と各医療機関の必要量が示され、医療供給体制を適切に構築されるとされている。市立根室病院は、市内唯一の急性期病院、地域センター病院であり、その機能が必要。地域の特殊要因も含め、「医療ビジョン」策定の過程で十分理解されるよう主張する。

十五年度介護保険制度と十八年度以降の市民負担はどうなるのか

【質問】十五年度介護保険料・標準月額試算は、四千六百六円。実際の保険料は四千

百円。その保険料抑制措置と十八年度以降はそうした措置が可能なのか。

【答弁】十五年度から三年間の保険料は標準月額四千六百六円の試算となった。現行の保険料三千七百円より二十四%上昇すること。国の制度「改正」で低所得層への負担増があることから、市として「介護保険事業基金」から一億四千万円繰り入れ、標準月額を四千百円と負担軽減を図った。十八年度以降については、「基金」が約四千万円となり、市民負担軽減は厳しくなる。国の動向も注視し、健康増進、介護予防等を推進する。



代表質問

市政クラブ

代表 千葉 智人 議員

政府機関の地方移転の考えについて

【質問】地方創生に基づく政府機関の地方移転について、根室市も水産や北方領土関係などについて北海道に提案してはどうか。

【答弁】市町村からの意見を提案資格のある北海道がどの程度検討されるのか現在のところはっきりしないが、提案のあったことについては、その可能性を含め北海道に提案して行きたい。

移住定住政策について

【質問】体験移住については、交流人口の拡大に成果は出てきている。今後は長期滞在者の拡大などの取組みが必要と考えるが、今後の事業の展開方針について考え方を伺う。

【答弁】受入れ拡大については、認知度や冬期間の稼働率向上などの課題整理が必要。提案を踏まえ、地域住

民との「ふれあい」や経済的視点を取り入れた「起業」等など幅広い取り組みを進めていく。

【質問】政府は今国会に女性の活躍推進関連法案を提出している。この法案が成立した場合、当市も行動計画の策定に取り組む必要があるが、根室市の考え方について伺う。

【答弁】今後、指針等を踏まえながら、「特定事業主行動計画」の策定作業を進めていく。女性の管理職登用に對する数値目標設定については、長期的視点に立った十分な検討が必要と考える。

【質問】市立根室病院における電子カルテシステム導入の進捗状況と、市政クラブで提案させて頂いた経費削減対策、タブレット化の導入に對しての検討結果について伺う。

【答弁】市政クラブから紹介のあった視察先担当者からのアドバイス等を参考にし、約二千二百万円の経費削減を実現し、提案のあったタブレット端末も導入をすることになった。今後は本年九月下旬に稼働予定であることから、運用マニュアルの策定や操作訓練などを行い、円滑に稼働できるように進めていく。

「エネルギービジョン」の策定について

【質問】再生可能エネルギーの活用について、近年注目されてきた地中熱ヒートポンプの利用も選択肢の一つに入れるべき。また、統合となった小中学校などの市の遊休地などを利用して独自で太陽光発電などを建設し、市が先頭に立って積極的に活用に取り組むべき。

【答弁】道内でも国の制度や自治体独自の制度を利用し、

地中熱ヒートポンプを活用している自治体もある。今後、エネルギービジョン策定にあたり選択肢の一つとして検討していきたい。市が自ら発電施設を設けることについても、廃校となつたグラウンドは避難場所指定などの課題もあるので、今後、調査研究を進めていきたい。

小中学校の適正配置計画について

【質問】市街地区の小中学校適正配置の議論は白紙となり、ほとんど進んでいない状況であり、このことを踏まえ、二十八年度からスタートする新たな適正配置計画に教育委員会の具体的方針を示すべき。

【答弁】中学校では教員確保の観点からも厳しい状況になることが予想されているので、アンケート調査などで保護者・児童生徒、住民の意向を把握し、十分勘案しながら新たな計画策定につなげていきたい。

一般質問

久保田 陽 議員

子育て支援財源は、さらに拡充を！

【質問】今後、五年間で「人口問題・少子化対策」の財源配分を十億円としたが、本年度予算における子育て支援額は六千万円であり、当初説明された二億円と乖離がある。今後、財源配分を二億円とすべきである。

【答弁】今年度の財源配分は、子育て支援を先行した。今後、少子化対策・人口減少対策を含めて、年額二億円を確保して配分する。

【質問】四月から市長主宰で、教育委員会と教育問題について会議の場を設けるが、「コミュニケーションスクール」などを進めるのか。

【答弁】学校施設整備や生徒指導の連携、福祉部局との連携による総合的な放課後対策など、教育のあるべき姿を共有し、政策に反映するため、積極的な会議として

たい。

【質問】教職員が児童と向き合う時間が少ないと報告されているが実態はどうなのか。

【答弁】これまで学校長と連携し、業務の簡素化により教職員の時間を確保してきた。今後も児童と向き合う時間の確保に努力したい。



歯舞小・中学校校舎

一般質問

鈴木 一彦 議員

防災・減災対策について

【質問】防災・減災対策のうち、特に爆弾低気圧について

では、港や道路などのハード面の抜本的な改善が必要。また、被災した住宅の改修補助金など、国や北海道に支援を求めるべきと考えますが、市長の見解を問う。

【答弁】根室港区は高潮災害を踏まえた防災・減災対策として、平成二十八年度要求に岸壁の嵩上げなどの整備を強く要望する。平内町一丁目付近の道道において、排水能力を高める工事を北海道が行い、緑町の雨水が溢れる地域については、既存施設の改修で改善を図りたい。

特別支援教育について

【質問】特別支援教育について、教員の加配を求めているが、教員の加配を求めているのか、教育長の見解を問う。

【答弁】自閉・情緒学級などで一対一の対応が必要な場合などの担当教諭の加配、また、各学校におけるコーディネーター担当教員の配置などについて、国や北海道教育委員会に要望している。

一般質問

本田 俊治 議員

市立根室病院の経営改善策等について

【質問】各種経営指標等を踏まえ、現状の経営状況をどの様に分析しているのか。

【答弁】医業収支比率六十七・〇％（八十七・八％）、職員人件費比率七十九・四％（五十七・一％）で、カック書きの他の類似規模病院に比べ、医業収支比率が低く、人件費比率が高いなど、収支バランスが悪い状況にある。

【質問】どの様な経営改善に取り組むのか。

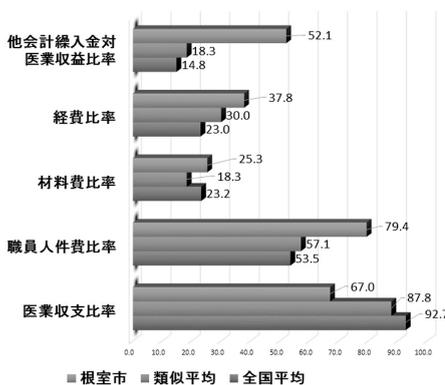
【答弁】経費の削減に努める

とともに、診療科毎の詳細な収支分析や人件費抑制のための効率的な人員配置に努めるなど、徹底した経営の健全に取り組む。

【質問】約十八億円の一般会計支出金が必要な病院の本年度決算見込みから見える収支バランスのとれる損益の分岐点について。

【答弁】損益分岐点は約四十七億九千万円で、収支バランスをとるための不足額は約十一億円となる。不採算部門など政策医療を担う公立病院の役目を果たさなければならず、不足額を医業収益で賄うことは現実的ではなく、まずは基準外繰入金

各種経営指標の比較



※各比率の棒グラフは、上から「根室市」、「類似平均」、「全国平均」となっています。

一般質問

足立 計昌 議員

地域包括ケアシステムについて

【質問】地域包括ケアシステムの構築における地域的な諸問題について伺う。

【答弁】地理的な要因も含め、医療・介護・福祉などの地域資源が、都市部に比べて十分とは言えない環境にあることが課題である。

市立根室病院について

【質問】平成十八年九月から分娩を休止し、市では市外医療機関で分娩を行う際に様々な助成を行っているが、市民の願いは一日も早い市立根室病院での分娩再開ではないか。

【答弁】分娩再開に向け、北海道や関係機関をはじめ、大学への要請、個人招へいなど、あらゆる手法を用いながら医療体制の構築に全力で取り組んでいく。

【質問】駐車場入口変更などの要望をしているが、スピー

ド感を持った対応が「市民に愛される病院」につながるのではないかと。

【答弁】駐車場入口変更の件は、安全性や利便性、工事費用などを勘案して、早い時期に結論を出したいと考えている。

一般質問

工藤 勝代 議員

「放課後教室」の今後の対応について

【質問】例年行われている小学校の一日入学で留守家庭児童会の説明が無かったが、正しく保護者に伝わっているのか。

【答弁】昨年二月に市が保護者に実施した「子ども・子育てアンケート調査」では、放課後教室、留守家庭児童会の内容がよく分からないとの回答が多かったため、一日入学の機会を利用した説明を改め、十分に時間がとれる説明会に変更した。平日は夜間、土曜日は午前

と午後に分けて、総合文化会館で開催し、さらなる保護者への周知に務めた。

【質問】留守家庭児童会の申込みが定員をオーバーしているが対応は可能か。また、小学校六年生まで留守家庭児童会の対象を拡大したが、今後、検討が必要ではないのか。

【答弁】審査や個別面談で定員に沿って受け入れを検討していく。定員を超えている放課後教室は年間推移を見守り対応する。活動場所や指導員体制も十分検討する必要があると考える。



1月緊急議会、第2回1月緊急議会、3月定例会議会、本会議及び各委員会質疑等

1月緊急議会

一月十四日に市長からの要請に基づき緊急議会を開きました。本会議では、議案第一号「根室市総合計画の基本構想及び基本計画の策定について」を、根室市総合計画審査等特別委員会に付託し、休会中の審査としました。委員会は一月二十二日、三十日、二月十二日、十九日の四回にわたり会議を開いて質疑を行い、全会一致により「可決すべきこと」に決定しました。委員会での主な質疑の内容は、次のとおりです。

◆根室市総合計画審査等特別委員会

「根室市総合計画の基本構想及び基本計画の策定について」

【分野別】

- ・総合計画に係る今後の十年間の財源確保の方針について
- ・今後の市民協働の方向性と市民参画の具体的な手段について
- ・地域医療の充実の目標と市民が満足できる地域医療環境の考え方について
- ・少子化対策の具体的な施策について
- ・防災情報伝達手段の充実・強化の内容と今後の対応について
- ・生涯学習活動を推進する上での重要な要素と地域課題の把握を踏まえた具体的な取組みの必要性について
- ・総合体育館の建設に対する課題と建設に向けた市民の理解を得る必要性について
- ・漁業就業者数の減少に対する対応の考え方について
- ・商店街の将来ビジョンの策定の取組みに対する考え方とビジョン策定に伴う行政の役割について
- ・北方領土返還要求運動後継者の育成の取

組みについて
 ・地域コミュニティの概念を明確に示す必要性と今後十年間の方向性について

【総括】

- ・第九期根室市総合計画を進めるに当たっての地方創生との捉え方について
- ・市民協働のまちづくりを推進するための行政の役割の捉え方について
- ・地域コミュニティを活性化させる施策展開の推進について

第二回一月緊急議会

一月二十七日に市長からの要請に基づき緊急議会を開きました。本会議では、補正予算案について質疑を行い、全会一致により「可決」になりました。質疑のあった主な議案・質疑の内容は、次のとおりです。

「平成二十六年年度根室市一般会計補正予算(第七号)」

- ・降雪量の増に伴い除雪対策経費が不足したため、総額六千万円を増額補正するものです。
- ・平成二十六年四月からの除雪出勤回数と執行金額について
- ・市民生活に支障のない早急な対応について

三月定例会議会

◆**常任委員会**

三月十二日に条例改正案などについて質疑を行い、全会一致及び起立採決により「可決すべきこと」に決定しました。質疑のあった主な議案・質疑の内容は、次のとおりです。

●**総務常任委員会(審査件数：四件)**

「根室市部設置条例の一部を改正する条例」

- 組織機構の見直しにより、総合政策部に少子化対策推進室を設置する内容。(平成二十七年四月一日から施行)
- ・少子化対策推進室設置に対する基本的な考え方について
- ・少子化対策推進室設置に伴う予算措置の考え方について

●**文教、厚生常任委員会(審査件数：十九件)**

「市立根室病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する等の条例」

- 市立根室病院事業の地方公営企業法全部適用に伴う所要の改正をする内容。(平成二十七年四月一日から施行)
- ・医師資格を持った病院長を管理者とする効果と診療に対する影響について
- ・今後の市長の関わり方と自治体病院としての役割について

●**産業経済常任委員会(審査件数：三件)**

「指定管理者の指定について(根室市白鳥台センター)」

- 根室市白鳥台センターに係る指定管理者の指定をする内容。(平成二十七年四月一日から平成三十年三月三十一日までの指定)
- ・施設の利用増に向けた活用の方針について
- ・根室観光を推進するうえでの施設のあり方について

◆**予算審査委員会**

三月十三日、十六日、十七日の三日間にわたり平成二十七年当初予算案について質疑を行い、全会一致及び起立採決により「可決すべきこと」に決定しました。質疑のあった主な議案・質疑の内容は、次のとおりです。

●**一般会計**

【総務費】

- ・社会保障・税番号(マイナンバー)の内容と平成二十七年における業務内容について
- ・少子化対策に伴う各部署の役割と子育て世代に対するサービスの拡充について

【民生費】

- ・避難施設における避難者に対する相談業務等の体制整備の必要性とその対応について
- ・子育て支援の拡大の検討について

【衛生費】

- ・食生活改善に向けた取組みの考え方と平成二十七年における取組みについて
- ・じん芥焼却場の整備計画の考え方について

【労働費】

- ・雇用のミスマッチの把握と雇用実態の現状分析について
- ・若年労働者の所得の推移と労働環境に対する考え方について

【農林水産業費】

- ・自然保護対策の取り組みの状況について
- ・新たな商品開発の必要性とこれからの水産加工業の展開について

【商工費】

- ・高齢者を対象にした特殊詐欺等の件数と被害予防の市民周知や啓発について

- ・外国人観光客の受入れ体制の整備と今後の対応について

【土木費】

- ・異常気象に対する雨水対策の考え方と整備方針について
- ・市営住宅整備工事業の事業開始時期と事業内容について

【消防費】

- ・救急車に救急救命士の乗車がない事例の理由と他市と比較した救急救命士の人数について
- ・今後の消防職員数に対する考え方について

【教育費】

- ・教科書採択委員会における北方領土問題に関する記述がされている教科書の採択について

- ・地域コミュニティのあり方とコミュニティ力の向上を図る組織体制の構築について
- ・学校給食費の無料化の対象世帯数とその効果について

【公債費】予備費】

- ・市債の計画的な発行による抑制と必要な施策の執行とのバランスの考え方について

【市税と市債】

- ・人口減少に伴う収収状況の分析について

●市民交通傷害共済事業特別会計

- ・市民交通傷害共済基金残高の状況と今後の基金活用のあり方について

●国民健康保険特別会計

- ・国民健康保険税の負担限度額引き上げに対する考え方について

●流通加工センター汚水処理事業特別会計

- ・汚水処理施設を使用する企業数の推移について

●介護保険特別会計

- ・介護報酬の改定に伴う市内事業者への影響について

●後期高齢者医療特別会計

- ・後期高齢者医療保険料の軽減措置と国などに對する負担軽減の要請について

●港湾整備事業会計

- ・港湾における高潮対策と防災対策の課題について

●水道事業会計

- ・水道料金の見直しに対する考え方について

●下水道事業会計

- ・下水道事業会計の将来の見通しと下水道料金の見直しについて

●根室市病院事業会計

- ・市外へ患者が流出していることに対する考え方について

- ・これまでの看護師体制の状況と今後の看護師確保の取組みについて
- ・旧病院と新病院における固定費の比較について

休会中に審査を行った委員会

◆産業経済常任委員会

平成二十六年十二月定例会月議会で産業経済常任委員会に付託された議案第八十八号「根

室市中小企業振興基本条例」について、継続して審査を行うため、平成二十七年二月二十七日までの審査期限を付されていましたが、二月二日、十三日の二回にわたり会議を開いて質疑を行い、全会一致により「可決すべきこと」に決定しました。委員会での主な質疑の内容は、次のとおりです。

「根室市中小企業振興基本条例」

市、企業、市民が、中小企業を振興することにより、地域経済の健全な発展及び市民生活の向上に寄与するという認識を共有し、協働の精神のもと、中小企業に関する施策を総合的に推進する内容。（平成二十七年四月一日から施行）

- ・根室市中小企業振興基本条例と小規模企業振興基本法との関連について
- ・中小企業基本法における国と市の責務の基本的な考え方について
- ・小規模企業者に対する支援の必要性について

- ・根室市中小企業振興基本条例に対する要望について

なお、委員会から次のように附帯決議が可決されました。

【附帯決議】

根室市内の事業者の大半を小規模企業者が占めていることに鑑み、小規模企業振興基本法とその関連法の趣旨や具体的な施策が十分に活かされるような調査審議を行い、一定の時期までに見直しなどの措置が講じられるよう要望する。

平成27年 根室市議会 各議会採決一覧

議案番号等	議 件 名	賛 否 (○ ×)					
		創 新	市 政 ク ラ ブ	日 本 共 産 党	久 保 田	遠 藤	壺 田 副 議 長
■ 1月緊急議会							
【単行事件】							
議案第1号	根室市総合計画に係る基本構想及び基本計画の策定について	審 査 継 続					
■ 第2回 1月緊急議会							
【予算関係】							
議案第2号	平成26年度根室市一般会計補正予算（第7号）	○	○	○	○	○	○
■ 3月定例月議会							
【各条例等】							
議案第88号	根室市中小企業振興基本条例	○	○	○	○	○	○
議案第1号	根室市総合計画に係る基本構想及び基本計画の策定について	○	○	○	○	○	○
議案第3号	根室市職員給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	○	○
議案第4号	根室市行政手続条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○
議案第5号	根室市部設置条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○
議案第6号	根室市手数料条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○
議案第7号	根室市地域包括支援センターの包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例	○	○	○	○	○	○
議案第8号	根室市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例	○	○	○	○	○	○
議案第9号	根室市介護保険条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	○	○
議案第10号	根室市訪問介護利用者負担の助成に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○
議案第11号	根室市介護等給付に係る住宅改修費支給限度基準額を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○
議案第12号	根室市介護保険法に基づく指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に係る基準に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○
議案第13号	根室市介護保険法に基づく指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に係る基準に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○
議案第14号	根室市医師及び医療従事者修学資金貸付条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○
議案第15号	根室市体育施設条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○
議案第16号	市立根室病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する等の条例	○	○	○	○	○	○
議案第17号	市立根室病院事業の地方公営企業法全部適用に伴う関係条例の整備に関する条例	○	○	○	○	○	○
議案第18号	市立根室病院使用料手数料及びその他の諸料金徴収条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○
議案第19号	根室市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○
議案第20号	根室市病院事業の管理者の給与等に関する条例	○	○	○	○	○	○
議案第21号	根室市農業委員会事務手数料条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○
議案第22号	指定管理者の指定について（根室市福祉会館）	○	○	○	○	○	○

議案番号等	議 件 名	賛 否 (○ ×)					
		創 新	市 政 ク ラ ブ	日 本 共 産 党	久 保 田	遠 藤	壺 田 副 議 長
議案第23号	指定管理者の指定について（根室市老人福祉センター）	○	○	○	○	○	○
議案第24号	指定管理者の指定について（根室市第二老人福祉センター）	○	○	○	○	○	○
議案第25号	指定管理者の指定について（根室市白鳥台センター）	○	○	○	○	○	○
議案第26号	指定管理者の指定について（根室市観光物産センター）	○	○	○	○	○	○
議案第46号	根室市障がい福祉計画の策定について	○	○	○	○	○	○
議案第47号	根室市高齢者保健福祉計画の策定について	○	○	○	○	○	○
【予算関係】							
議案第27号	平成27年度根室市一般会計予算	○	○	○	○	○	○
議案第28号	平成27年度根室市市民交通傷害共済事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○
議案第29号	平成27年度根室市国民健康保険特別会計事業勘定予算	○	○	×	○	○	○
議案第30号	平成27年度根室市流通加工センター汚水処理事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○
議案第31号	平成27年度根室市農業用水事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○
議案第32号	平成27年度根室市介護保険特別会計事業勘定予算	○	○	×	○	○	○
議案第33号	平成27年度根室市後期高齢者医療特別会計予算	○	○	×	○	○	○
議案第34号	平成27年度根室市港湾整備事業会計予算	○	○	×	○	○	○
議案第35号	平成27年度根室市水道事業会計予算	○	○	×	○	○	○
議案第36号	平成27年度根室市下水道事業会計予算	○	○	×	○	○	○
議案第37号	平成27年度根室市病院事業会計予算	○	○	×	○	○	○
議案第38号	平成26年度根室市一般会計補正予算（第8号）	○	○	○	○	○	○
議案第39号	平成26年度根室市国民健康保険特別会計事業勘定補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	○
議案第40号	平成26年度根室市農業用水事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○
議案第41号	平成26年度根室市介護保険特別会計事業勘定補正予算（第5号）	○	○	○	○	○	○
議案第42号	平成26年度根室市水道事業会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○
議案第44号	平成26年度根室市下水道事業会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○
議案第45号	平成26年度市立根室病院事業会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○
【意見書】							
意見書案第1号	地方交付税の安定的確保を求める意見書	○	○	○	○	○	○
意見書案第2号	地域交通維持のための財政支援の拡充を求める意見書	○	○	○	○	○	○
意見書案第3号	公共事業における国産材の活用を求める意見書	○	○	○	○	○	○
意見書案第4号	雇用の安定を求める意見書	×	○	○	○	○	○
意見書案第5号	戦後70周年談話にあたりこれまでの内閣の歴史認識の継承を求める意見書	×	○	○	○	○	○
意見書案第6号	農業・農協改革に関する意見書	×	○	○	○	×	○
意見書案第7号	後期高齢者医療制度保険料の特例軽減措置廃止の撤回を求める意見書	×	○	○	○	×	○
意見書案第8号	介護報酬引き下げを撤回し、介護保険制度の拡充を求める意見書	×	○	○	○	○	○

平成26年度 政務活動費の収支状況

●政務活動費とは

「地方自治法第100条第14項から16項」に規定する議会の議員の調査研究その他の活動に資するため必要な経費の一部として交付されるもので、交付の対象、額及び交付の方法並びに政務活動費を充てることができる経費の範囲は条例で定めなければなりません。本市においては「根室市議会政務活動費の交付に関する条例」及び「根室市議会政務活動費の交付に関する規則」の規定に基づき、根室市議会議員の調査研究その他の活動に資するため必要な経費の一部として、市議会における会派等に交付されます。

●交付額及び交付対象

議員一人あたり年額240,000円が会派等に対して交付されます。

●政務活動費使途基準

政務活動費は、条例で定める以下の使途基準に従って使用します。

項目：調査研究費、研修費、広報費、広聴費、要請・陳情活動費、北方領土対策活動費、会議費、資料作成費、資料購入費、人件費、事務所費

項 目	創 新	市政クラブ	日本共産党 根室市議会議員団	無所属 (久保田陽)	無所属 (遠藤輝宣)	無所属 (壺田重夫)	合 計	
所 属 議 員 (H27.3.31現在)	8 人	4 人	3 人	1 人	1 人	1 人	18 人	
交 付 決 定 額 (A)	1,920,000 円	960,000 円	720,000 円	240,000 円	240,000 円	240,000 円	4,320,000 円	
決 算 額 (B)	1,729,859 円	950,700 円	661,226 円	209,025 円	240,000円 (246,142)	240,000円 (240,040)	4,030,810円 (4,036,992)	
差 引 返 納 額 (A - B)	190,141 円	9,300 円	58,774 円	30,975 円	0 円	0 円	289,190 円	
交付額に対する執行率 (B / A)	90.1 %	99.0 %	91.8 %	87.1 %	100.0 %	100.0 %	93.3 %	
決 算 額 内 訳	調 査 研 究 費	915,322 円	606,214 円	216,270 円	0 円	73,530 円	1,811,336 円	
	研 修 費	494,381 円	0 円	301,736 円	32,200 円	0 円	1,015,787 円	
	広 報 費	0 円	0 円	12,096 円	0 円	0 円	12,096 円	
	広 聴 費	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円	
	要 請 ・ 陳 情 活 動 費	0 円	145,516 円	0 円	0 円	0 円	145,516 円	
	北 方 領 土 対 策 活 動 費	260,880 円	109,060 円	55,479 円	47,370 円	99,812 円	27,570 円	600,171 円
	会 議 費	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円	
	資 料 作 成 費	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円	25,000 円	25,000 円
	資 料 購 入 費	16,200 円	11,902 円	57,971 円	37,476 円	0 円	0 円	123,549 円
	人 件 費	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円	0 円
事 務 所 費	43,076 円	78,008 円	17,674 円	91,979 円	72,800 円	0 円	303,537 円	

※「事務所費」とは、「会派又は議員が行う活動に必要な事務所（会派又は議員控室とする。）の管理に要する経費」のことをいいます。

第9期根室市総合計画が可決されました

平成27年度を初年度とする「第9期根室市総合計画」の基本構想及び基本計画が、1月緊急議会に市長から提出され、特別委員会での休会中の審査・採決を経て、3月定例会議の本会議で可決されました。

市議会では平成25年12月定例会議において「根室市総合計画審査等特別委員会」を設置し、総合計画の策定段階から計画に反映または検討すべき事項について、議員相互間の自由討議により議論を重ね、特別委員会を19回開催し、「総合計画全体に対する意見」と、「地域経済」などの「分野別の意見」に分けて意見、提言を取りまとめ、市長へ意見書として提出しました。

市議会から提出された意見書を計画に反映された「第9期根室市総合計画」が、1月緊急議会に市長から提出され、休会中に4回の特別委員会を開催し、3月定例会議の初日の本会議において、委員長報告の後、全会一致で可決されました。



(第3回委員会：平成27年2月12日撮影)



(第4回委員会：平成27年2月19日撮影)

今後の議会開催(予定)

▶ 6月定例会議

開会：6月23日(火)午前10時～

※日程等の詳細は、議会運営委員会において決定後、市のホームページでお知らせいたします。

〈お知らせ〉

本会議・委員会を傍聴しませんか

議会の本会議や各委員会は傍聴することができますので、ぜひお気軽にお越しください。

編集後記

平成二十七年は、地域が試される地方創生元年の年であり、同時に、根室市のまちづくりの指針である「第9期根室市総合計画」のスタートの年でもあります。

三月定例会議には地方創生や総合計画基本構想・計画に基づく関連議案、予算案、諸計画が提案され、三月二日から十七日間、活発な質疑を行いました。

また、議会改革の一環として、委員会活動の活性化に努める中、総合計画審査等特別委員会を平成二十五年十二月に設置し、計画策定段階から議員相互間による自由討議を重ね、議会として意見・提言をまとめ、それを踏まえて上程議案の審査に入るなど新たな取り組みも行っており、議会が取り組んでいるこの様な改革の姿を市民皆様にしっかりと伝えられる広報活動も非常に重要と考えております。

今後は、議会ホームページの充実や新しい情報通信技術を活用した議会情報発信のあり方について調査・検討を進めるなど、広報活動の更なる充実に努めたいと思います。

市議会だよりも今号で十二号となり、試行錯誤を繰り返しながら、わかりやすい紙面づくりに努めておりますが、これからも市民皆様からのご意見、ご提案等をお聞きしながら改善に努めてまいります。

広報委員会委員 本田 俊 治